

5G スマホ？

2019 年 7 月 16 日

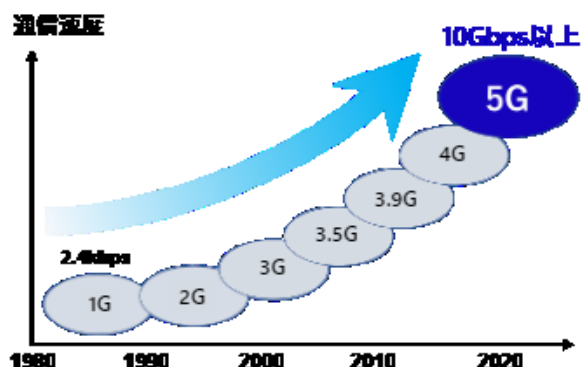
By ミケパバ

テレビ・新聞でやかましくなってきました「5G スマホ」。新しい物好きの私、次に更新するなら・・・と考えまして、調べてみました。「分進秒歩」の世界ですので、「本日ただ今」のネット調査情報です。



5G って何？：

5G= 5th Generation=第 5 世代 の意味です。特に今回は「通信規格」。「第 5 世代移動通信規格」とでも言いますか。当然 1G から始まったわけで、現在は 4G です。1G はアナログ携帯電話、1985 年ごろから使われており、その後 2G でデジタル化、3G で高速データ通信、と、特に通信速度が急速に向上してきました。現在は「4G 改良型」の時代です。5G は、最新の世代となります。



何が変わるの？：

5G の特長は

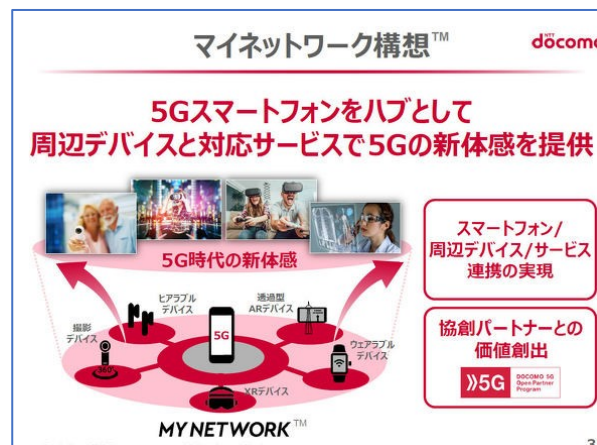
- ・超高速・・・4G のほぼ 100 倍の通信速度(10Gbps)
- ・同時多数接続・・・1km2 当たり、同時に 100 万台の端末の接続が可能
- ・超低遅延・・・1 ミリ秒の遅延で接続される(4G では 10 ミリ秒)

これらの特長により、

- ・Wi-Fi 無線ルーターが不要になる
- ・ウェブサイトは動画は当たり前
- ・同時に、多数の接続が必要な IoT (internet to Things)に必須
- ・同時に多数の情報を高速で処理する、「自動運転車」に適する
- ・ほぼリアルタイムでの作業が可能になるので、遠隔地医療などへの応用が見込まれる

といった「まだ見ぬ世界」が開けます。つまり、「スマホはそのごく一部」の利用方法です。

ドコモは「マイネットワーク構想」として、「スマホをハブにして周辺の機器を接続してネットワークとして利用する」ということも提案しています。



何時から？

海外では、アメリカと韓国が今年 4 月 4 日から「サービスを開始した」と主張しています。日本では NTT ドコモが今年(2019 年)9 月から「プレサービスを開始」し、2020 年 4 月に商用化開始する予定だとか。

日本は世界から「1 年遅れ」なんですね。

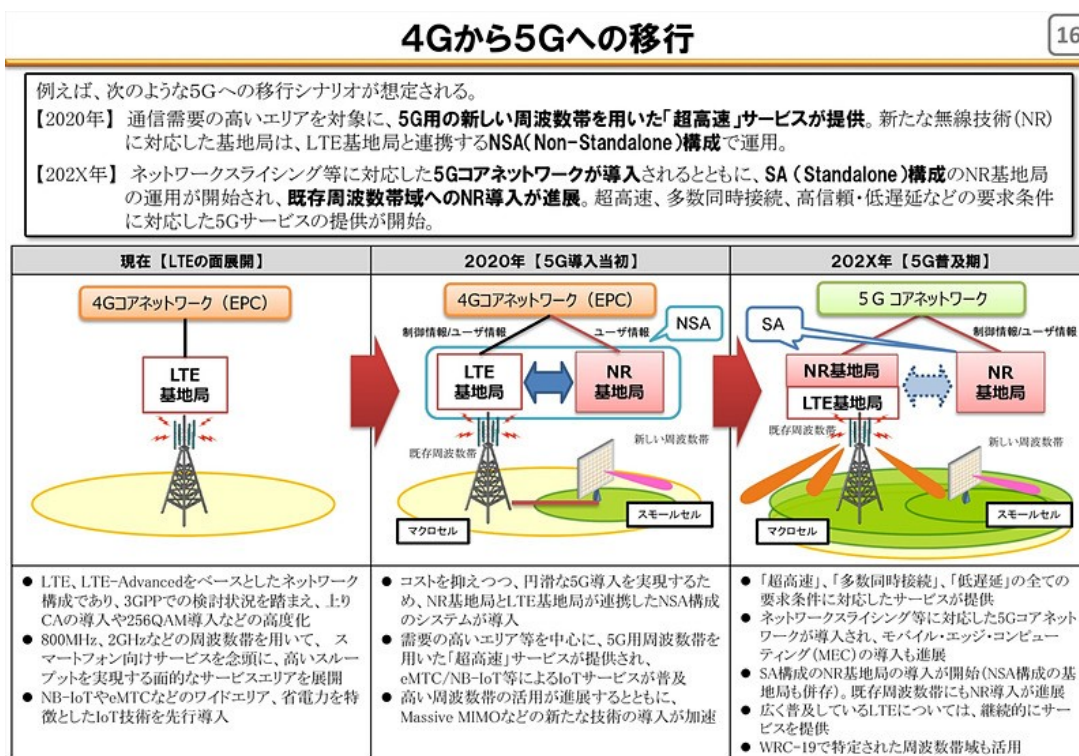
ただし、2020 年に開始するのは、前述の「特長 3 点」のうち「超高速」だけらしいです。というのは、残りの「同時多数接続」と「超低遅延」を実現するには、基地局の建設に加えて、5G 対応の「コアネットワーク」＝基幹通信網(制御装置と、交換機同士のネットワーク)を構築しないとイケないんだとか。

総務省の資料でも、

「2020 年に超高速サービスが提供される」

「202X 年に 5G コアネットワークが導入される」

となっています。



アメリカや韓国でも、現状では「4GLTE スマホに 5G の超高速機能だけをプラスした」状態だそうです。又、利用できる地域が限られている、とも。

料金は？

商用化は来年春ですから、利用料金は当然「まだ不明」。大規模の投資が必要でしょうから当然上がると思いますが、今回は「楽天モバイル」が第 4 のキャリアとして競争に参入しますので、価格の設定には慎重でしょう。韓国では、「データ通信使い放題」で月 8,000 円だそうです。(高いなあ。電話代は？)

結論：

- ① まだ利用できるのは「超高速」機能だけ。それを楽しむアプリはこれから。
- ② ネットワークを構成する、IoT 機器はまだそろっていない。
- ③ 端末も、利用料金も高そう。(はじめは皆同じですが)

ということで、まだ 1 年ほどは「様子見」がお勧めです。

以上